



会社概要

Company Profile



夕力才株式会社

NEXT DREAM

FROM takao



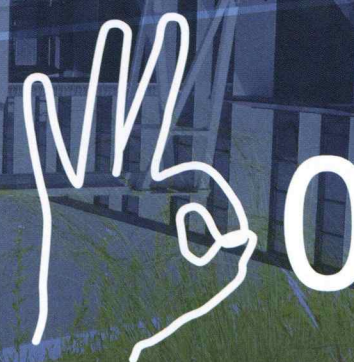
いつの時代もブレない モノづくりへのこだわり。

タカオのモノづくり、それは絶えず新しいものに挑んできた挑戦の歴史でした。

誰もが夢だと思ったこと、絵空事だと一笑に付したものを創りあげてきたストーリーの系譜です。

そして、これからも、いつの時代においても価値ある製品を提供できる企業であるために
子どもたちの夢をカタチにするために、タカオならではの“NEXT”を追いつけていきます。

子どもの目線が私たちの原点です。



0からの
感動を創造する

子どもの視点で全てを発想する。
それがタカオ株式会社の基本。
そのために私たちは常にまっさらな気持ちで「0」
から始め、それぞれのお客様とまっすぐに向き合
います。そして、組織力を駆使して、お客様の課
題の本質を見極め、事業活動のターゲットとなる
子ども達の心を動かす価値を創造します。

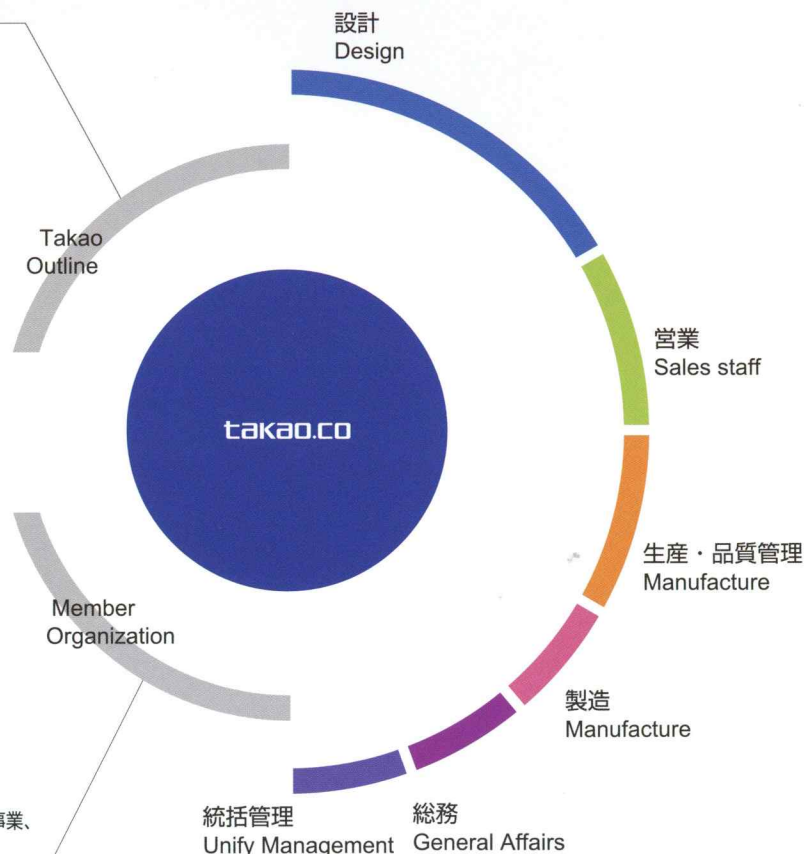
会社概要

会社概要

- 商号 タカオ株式会社
- 創業 1955年10月(昭和30年)
- 設立 1966年12月(昭和41年)
- 資本金 8,000万円
- 社員数 161名
- 代表者 代表取締役社長 高尾 典秀
- 事業内容 屋外遊具、公園施設、都市空間施設の企画・デザイン・設計・制作・施工・販売
- 東京本社 東京都港区芝浦3-14-6
- 福山本社 広島県福山市御幸町中津原1787-1
- 事業所 東北・横浜・関越・大阪・広島・香川・愛媛・福岡・沖縄・パリ
- 工場施設 第1工場、第2工場、第3工場、関東サービスセンター、東北サービスセンター
- 関連会社 (株)小川長春館(体育施設総合メーカー)
(株)テクト・インターナショナル
テクト・ジャパン(株)
テクト・ハワイ(株)
テクト・ホーム(株)
- 建設業許可 国土交通大臣許可(般-29)第17929号
とび・土工工事業、鋼構造物工事業、機械器具設置工事業、造園工事業

加盟団体

- (一社) 日本公園施設業協会会員
- (一社) 日本公園緑地協会会員
- (一社) ランドスケープコンサルタンツ協会賛助会員
- (一財) 公園財団賛助会員
- (一社) 日本造園建設業協会会員
- (一財) 日本造園修景協会会員
- (一社) 日本運動施設建設業協会会員



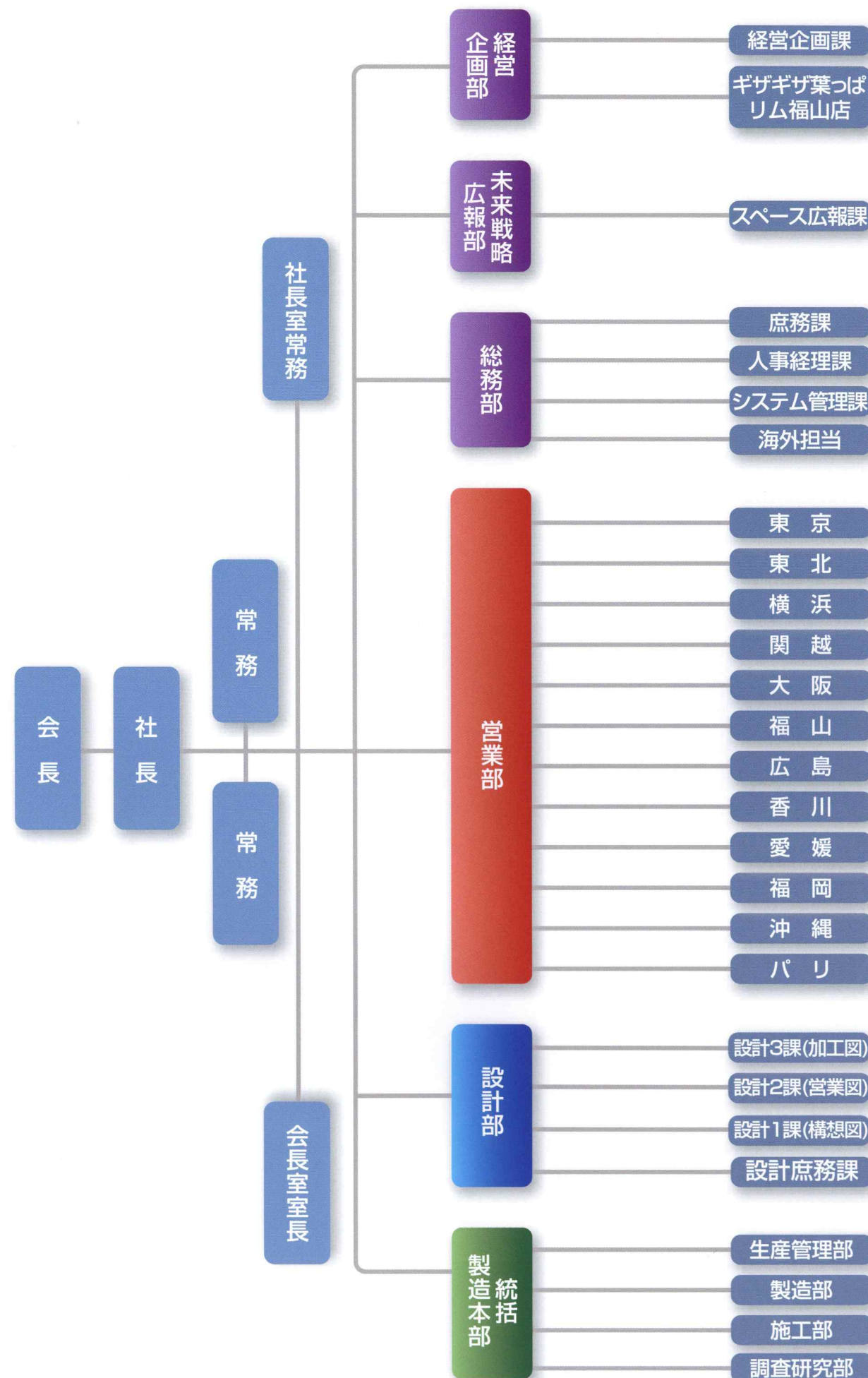
タカオの企業ビジョン



タカオの企業理念

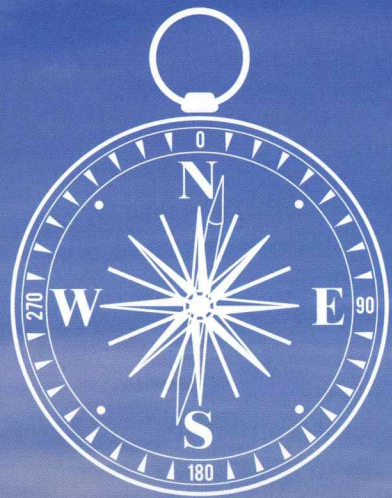
- 一、タカオは 信用を財とし誠実を旨として技術力の向上に努める。
- 一、タカオは 常に進取の経営で熱意と感謝を忘れることなく時代に即応した事業展開をはかる。
- 一、タカオは 品質の向上を追求し、豊かな環境創造の未来に向けて事業を通じて社会に貢献する。

会社組織図



TAKAOK'S SYSTEM

この街がいちばん
心地いい



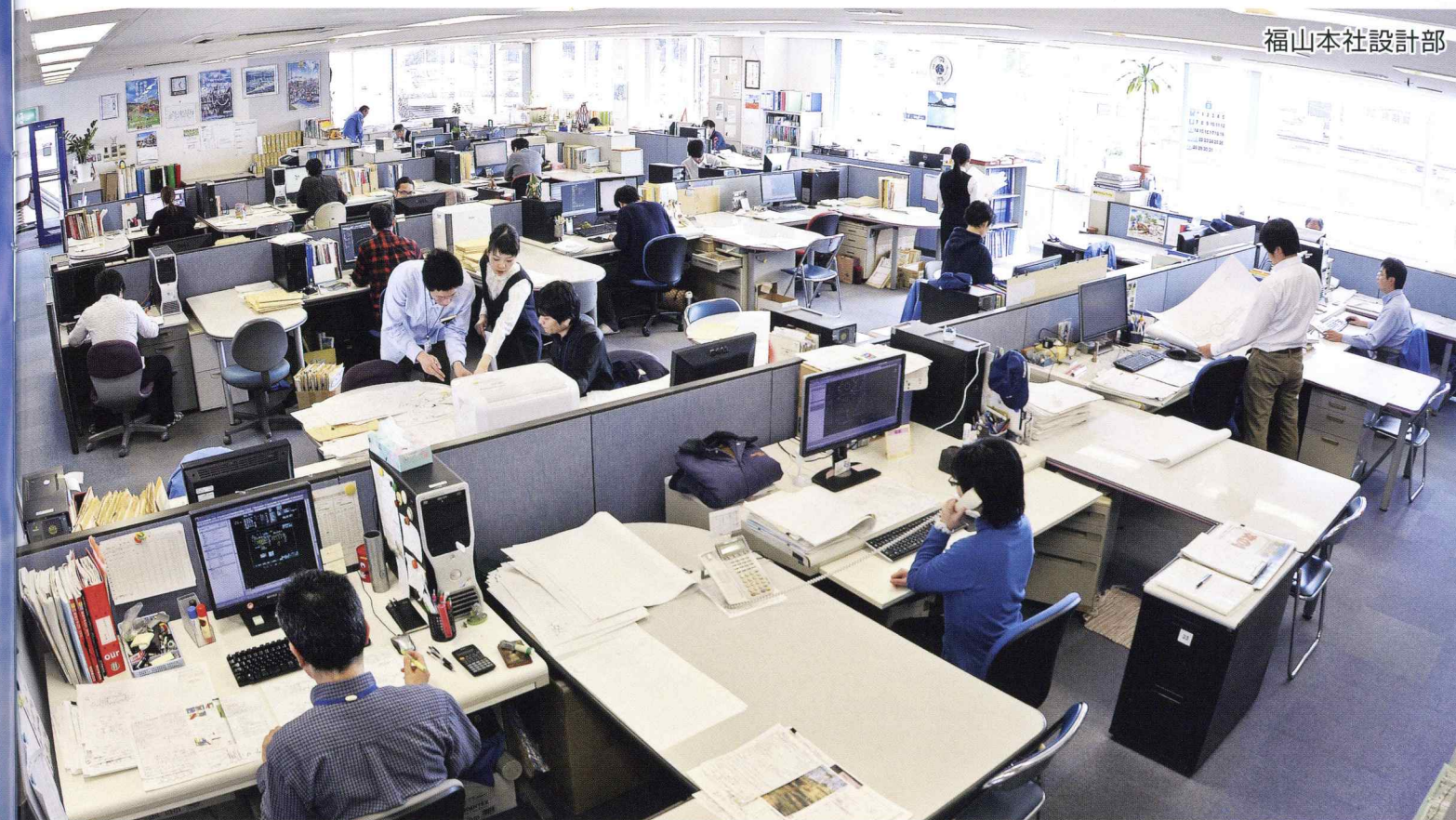
360度の
視点を忘れない

イギリスには「Home is where the heart is」
家とは心の居場所である、という言葉があるそう
です。

自分が属していると感じる場所。しっかりと納まる
パーソナルスペース。公園も、心地よく心からく
つろげる快適な場所へと、タカオは考えています。
四季を通じて快適な場所であると同時に、そこに
暮らす全ての人々にとっても、いまだけでなく将
来にわたって安全に暮らせる空間でありたい。

タカオでは先進技術や研究の成果を活かすこと
で、使う人にも環境にも配慮した製品づくりを実
現しています。

夢をカタチにできるアイデアのモトは
基準の枠外にある発想。



**妥協の無い現場から見たことの
無いアイデアが生まれる。**

今まで、夢とされていたことやモノを現実にするために、タカオは
一瞬たりとも気を抜きません。男女28名のスタッフは企画・立案、
遊具デザイン、設計の3チームに分かれ、それぞれの分野で「最高
のもの」を創り出すため切磋琢磨しています。「安全だからいい」の
ではなく、「まだどこにもないモノ」そして「ニーズに合ったモノ」を
生み出すために、培った知識を絞り出すだけでなく、時には街の歴
史や周辺環境、地域の将来像など多角的な目線でアイデアを生み
出していきます。一人ひとりのモノづくりに対するエネルギーがタ
カオの企業活動の源泉です。



技術者が技術者であるための
最高のモノづくり環境がある



新製品は“技術の蓄積とノウハウ、独創性”の結晶。



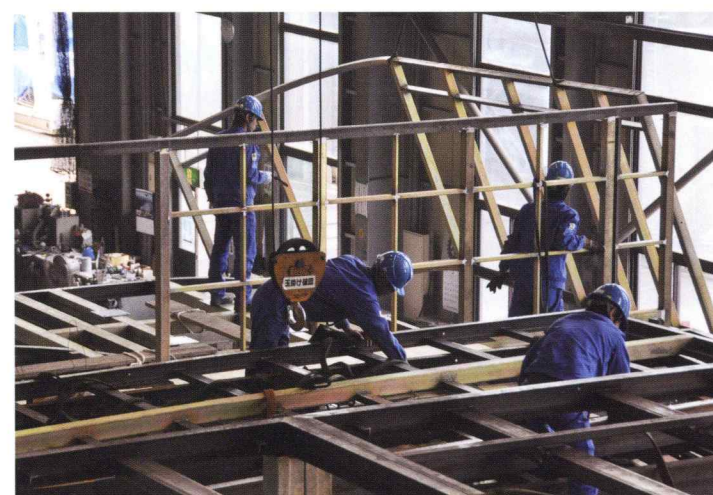
当社の設計スタッフがお客様と綿密な打合せを重ねて具体的な設計に入ると、ここにタカオ独自の技術ノウハウが活かされることとなります。そのデザインによって材質、精度、形状にどのような加工方法をとるか、遊具製造メーカーとしての長年の経験と新しい発想をミックスした技術力が活かされます。もちろん、非常に複雑な形状を高精度に加工することができる機能を持った機械設備が力を発揮することはいうまでもありません。さらにモノづくりにかかる現場スタッフの情熱、そこから生まれる独創こそがタカオの成長力の源です。



現場スタッフの情熱と技が 成し遂げる大型遊具の施工現場



すべてを自社工場にて製作する。これは、創業当時から守られてきた、モノづくりにおけるタカオの基本です。ブランコやすべり台から大型遊具まで一つひとつを手作業で丁寧に心をこめて創るクラフトマンの熱き想いが工場内の隅々にまで息づいています。



タカオが創る遊具はその大部分がパーソナルオーダーメイドの受注生産です。つまりユーザーの要求に一つひとつ応えた遊具を製作しているのです。それぞれの仕様が異なるため、細かい部分は熟練のスタッフが五感を駆使し、すべて手作業で行っています。そのため質の高い製品を創り出すことができ、修理や部品交換などのメンテナンスが容易に行えます。



一貫した自社製作を地で行く 生産ライン。

一般的には製作が困難な大型遊具の製作を可能にするタカオの工場。全長100m、幅20m、高さ15mの大型工場において、材料のカットや溶接などの金属加工から組み立てまでを一貫して行っています。手前で組み立てをしているかと思えば、その後方50m奥では溶接加工をするなど複数作業を並行して進められるほどの広さがあります。そのため作業工程が短縮でき、さらにこの広さを生かして大型遊具でも社内仮組みまでを行うことができます。だからこそ寸分の狂いも許されない現場施工を容易なものにできるのです。「工場内完成納品システム」はタカオが誇る他社にない独自の技術です。





福山本社塗装工場の一部



いろいろな素材の個性を
適材・適所に生かす遊具づくりがここに

大型遊具の塗装も可能にする 4基の広いブース



デザインの魅力を引き出す吹き付けもお手のもの。

金属加工を済ませた遊具は、大型乾燥炉を備えた塗装ブースに運ばれます。塗装ブースは大小合わせて4つ。大型ブースは、全長10.7m、幅4.2m、高さも3.8mあり、スペースを気にすることなく製品の塗装を行うことができます。本体遊具は塗りに入る前に素地調整をします。研磨、洗浄、脱脂、化学処理、目止めといった一連の作業は仕上げに大きく影響するので決して手を抜けません。タカオが最もこだわっている部分でもあります。その後、下塗り、中塗り、上塗りを経て、乾燥炉で高温焼付けを行います。塗装の要は「十分に準備した素地」「吟味選定した塗料」「熟練の技」の3つ。この3つのバランスが保たれてはじめて光沢の肉持ち感、平滑性の優れた遊具が生まれます。高品質な製品を世に送り出すために「決して手を抜かない」。このこだわりもまた、「すべてを自社工場で作る」タカオのモノづくりの姿勢のひとつです。



子どもたちの心をとらえる遊具が生まれる。

デザインの主となる骨格づくりとは異なる遊びのパーツづくりを担っているのが、タカオの第2工場です。全長70m、幅20m、高さ15mの工場内では子どもたちが大好きなスライダーやワクワクするアクセス、クライム遊具を生み出す樹脂加工や木加工が行われています。タカオは子どもたちがいつでも安全に楽しく遊べるよう世界のトップメーカーから斬新なパーツやカラフルな配色の素材調達を行いストックヤードに保管しています。

大型製品の仮組み作業も行える 広大なスペース

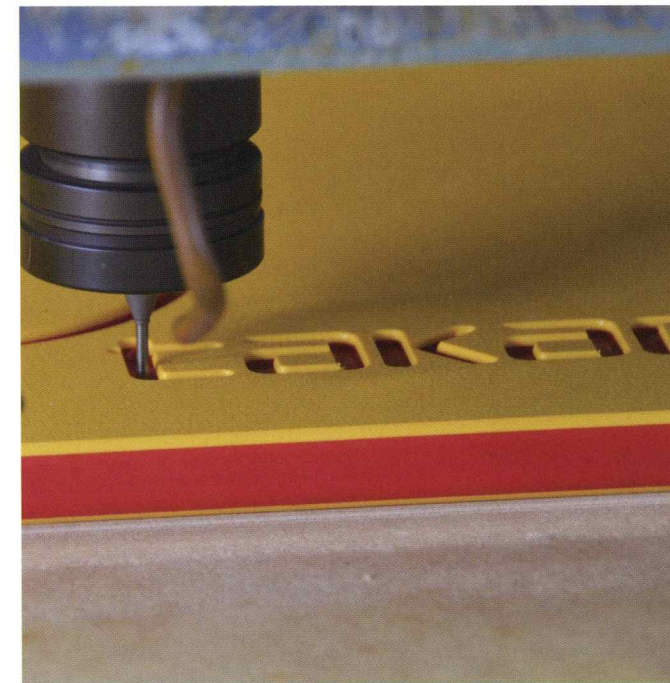


福山本社第三工場
仮組みスペース

よりスムーズに製品をつくり上げる ための重要な工程

製品は、パーツ同士の具合や状態を確認するために、一度仮組み作業を行います。この工程を経ることで、思わぬ不具合の発見や安全への更なる配慮が可能になります。

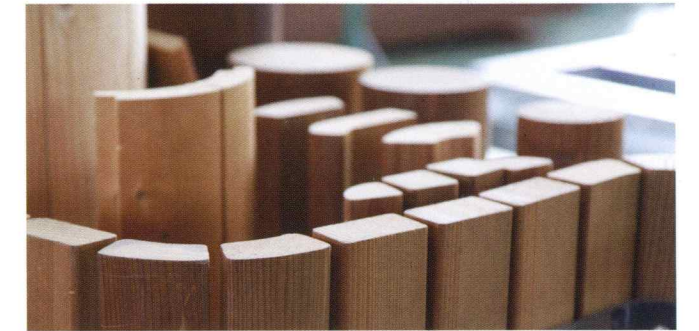
タカオには、広さ400㎡の敷地があり、大型の遊具でもスペースを気にすることなく仮組みを行うことができます。



遊具を華やかに彩るパネルや木材

製品を色鮮やかに演出する多種多様なパネルや、ナチュラルなテイストを加味する木材の加工を行います。

こだわり選りすぐった機械設備を駆使して熟練のクラフトマンが一つ一つ丁寧に作り上げていくパーツが、子ども達の夢が広がる製品を形作ります。



たくさんのパーツを保管できる 広々のストックヤード

既製品パーツは、全てストックヤードで在庫管理を行っています。そのため、取替の際も迅速に対応することができ、スピーディな取替作業が可能となります。



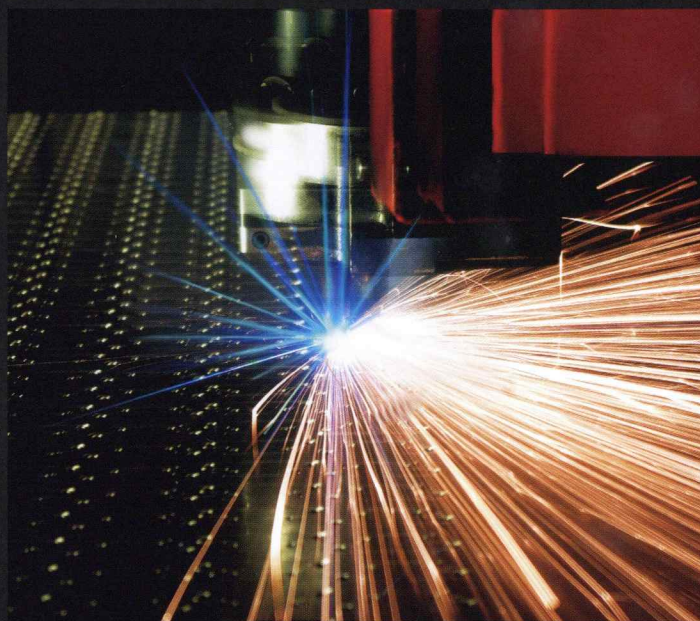
既製品パーツの仮組み

調達したパーツは、工場内で一度仮組みを行い、日本の安全規準に適合するか、問題なく組み上げられるか等をチェックします。

スライダーの滑走部分は回転成形と呼ばれる工法を用います。ウェーブ、スリザー、スパイラルなど複雑な形状を可能にするこの方法は、ネジ類や補強パーツをインサートするので安全です。

先進の加工技術と熟練技術者のコラボレーション 高品質を安定的に生み出す自社工場

NCLレーザー加工機



スチール、ステンレス等の金属をレーザー光の力を利用して複雑な形に切断でき、精密な物から大きな物まで、あらゆる加工ができる高速で優れた操作性と作業性を実現したレーザー加工機を導入。パイプ・形鋼の高速かつ高精度加工を可能とするロータリーインデックス装置、FO-MIINT機能を搭載した最新機です。

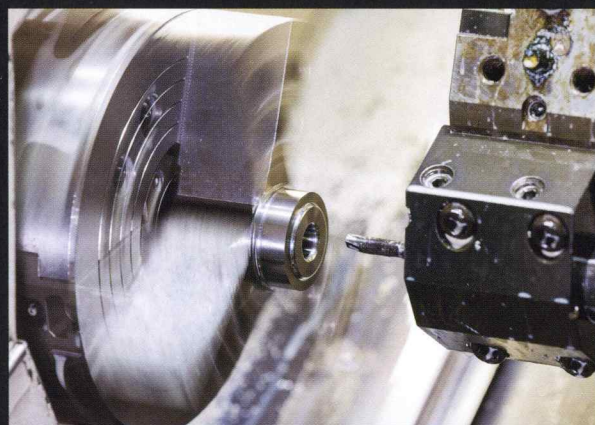
NCLレーザー加工機[type2]



NCLレーザー加工機[type1]



NC旋盤加工機 (NC・汎用)



コンピュータ制御によるNC旋盤加工機は複数か所の加工を同時に行うことができ、高精度が求められる特殊部品の自社製作を可能としています。

横型自動盤



通称バンドソーブレードは、鋼材の切断を行う加工機です。材料の長さを自動で切断できる送材機能を持ち、420角、450φまで対応しています。

ブレーキプレス加工機 (250t)



高速・高精度ハイブリッド・ドライブシステムを採用。上下2カ所の金型で金属の板（鉄板）を折り曲げるマシンです。幅約3,100mmまで、板厚0.8mm~25mmまで対応しています。

CNCパイプベンダー加工機 (MAX139.8φ)



連続的に変化するような形状も自由自在に曲げられる加工機です。また断面の変形が少なく綺麗な仕上がり特徴の最新型NC装置付きベンダーです。

横型ベンダー加工機



丸パイプ、角パイプ、H鋼を曲げられる加工機です。60.5φから139.8φのサイズまで対応。その他17.3φから加工可能な縦型ベンダーも導入しています。

NCルーター加工機



樹脂板を好きな形状で彫り込むことが可能なコンピュータ制御のNCルーター加工機を導入しており、あらゆる製品の精密な加工を可能としています。

モウルダー加工機 (5軸タイプ)



部材だけでは鋸刃（のこば）による裁断となるため、断面がざらついています。その表面をモウルダー加工機により平滑にし、さらにカンナがけ等の「超仕上げ」により、さらにきめ細かな仕上げを行います。

NCドリセッター



スピーディーで高精度の位置決めができるNC装置付きドリル加工機です。主にロックピン用の穴を並行にあげるなどに活用。大型工作機械に匹敵する大きな移動距離（約3,000mm）が特徴です。

電動フォークリフト



ディーゼルなどの燃料型に代わり、「排気ガスが出ない」などの環境面や、コストメリットからも注目されている電動タイプを導入しています。

ソリッドストッカー



サイズごとの鋼材・パイプ類、積み重ねできない材料などを収納。目的の材料を自動的に呼び出せるため安全で作業効率もアップ、スペースの有効活用、コストダウンにも貢献しています。

安心・安全の自社トラックが 施工現場へと夢をのせて走る

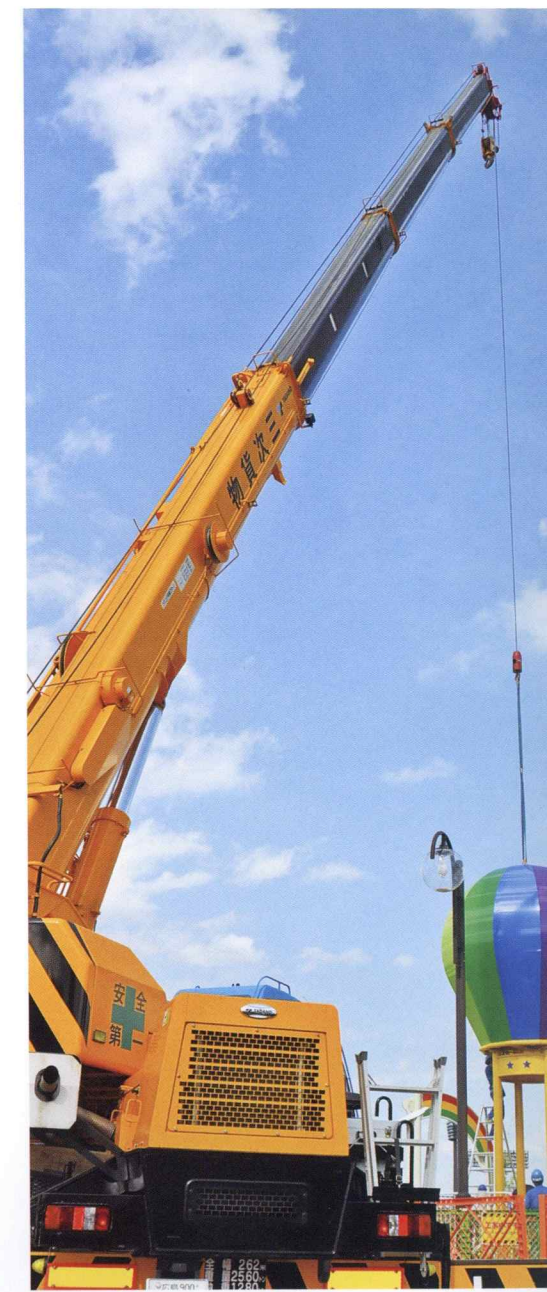
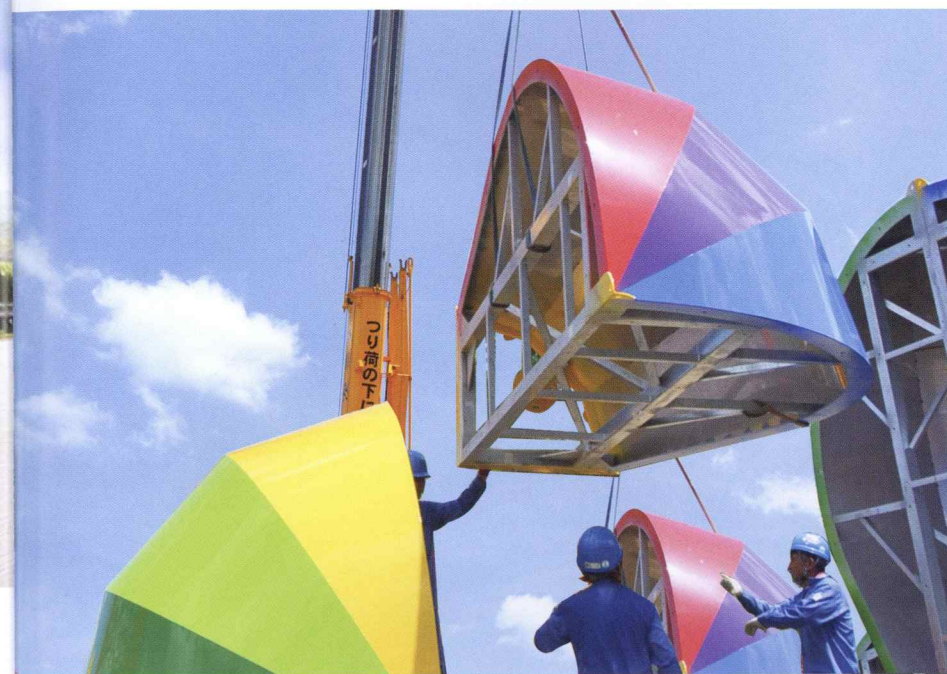


本社工場で製作された大型製品を 各パーツごとに搬送。

工場につくられ、最終検査に合格した製品は、現場の状況に合わせ最適な輸送手段を考え、迅速かつ安全に施工現場に搬送します。施工現場までの搬送については状況に合わせ、大型・中型・小型の自社トラックを使い分け施工現場へ向かいます。トラックの荷台に慎重に載せられた製品は現地で完成の時を迎えることになります。タカオのものづくりは出荷体制にも表れ、納期に合わせて効率よく運ぶサービス体制をつくり出しています。



公園のシンボルとなるモチーフをクレーンでつり上げてから組み立てていきます。ここでも高い技術を持ったタカオの職人技が生かされています。



仕事の喜びは現場で見つける 遊具据付け完成に歓喜の声

現場での据付け作業が早いのは、本社工場でできるだけの加工を進め、現場での作業は組み立てや据付けを中心に行っているからです。本社工場での仮組みは、イメージパースと見比べながら、前もって遊びの品質や性能を確認するためにも欠かせない手順のひとつです。そのため、現場ではイメージパースに従い、システム化された施工マニュアルに基づいて正確、スピーディーに組み立てることができます。遊具が目の前で完成するその瞬間。自社の技術力や感性が一つの製品を世に送り出す達成感と感動に…モノづくり企業としての誇りと喜びが味わえる製造業者冥利に尽きる至福の時となります。



Office & Factory

タカオのモノづくりは、「すべて自社工場で完結させる」という考え方を大切にしています。すべての工程を自社で行えるからこそ確かな品質の製品を提供でき、また、納期短縮というコストパフォーマンスを実現できると考えるからです。広い敷地内に本社ビル、企画設計、工場、配送センターを配置し、独自の生産体制と社内ネットワークによりさまざまなニーズにフレキシブルにお応えています。

■ 配送センター



■ 第一工場 金属加工・組立て



■ スtockヤード②



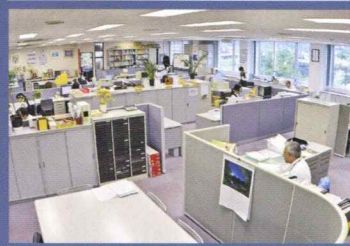
■ 第二工場 木加工・樹脂加工



■ 本社棟 3F 企画・設計

豊富な経験、定評ある技術。

The Takao Production



■ 本社棟 2F 総務



■ スtockヤード①



■ スtockヤード③

タカオの歴史は 福山の歴史とともに…。

福山駅周辺今むかし

1 福山駅前とバス発着場 (福山市 昭和36年頃)

福山駅前が整備され、中央に緑地帯を設け、東と西側にバス・タクシー乗場ができた。東側はニコニコバス(現中国バス)で、西側は井笠バスと新設バスであった。ポンネットバスが備わっている。

2 福山駅前広場に集合の鉄鉄バス (福山市 昭和25年)

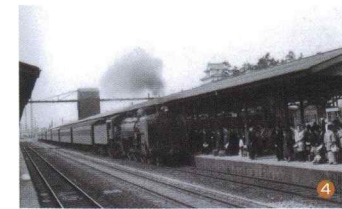
昭和25年頃の福山駅前風景。駅前の西側は鉄鉄バスセンターで、たくさんのバスが停車している。ようやく復興し、バスの台数も増えてきつつあった。

3 観覧車があった頃の天満屋と福山駅前 (福山市 昭和50年代前半)

福山駅前大通りの様子。昭和40年代にあった天満屋と編織ビル(現アイネスフヤマ付近)を結ぶ歩道橋がなくなっている。また、写真左にある天満屋には観覧車があった。現在は残っていない。



History of Fukuyama City



4 福山駅に進入する上り列車 (福山市 昭和35年)

ホームの屋根の背後に福山城伏見櫓が見える。福山駅は城跡の一角に造られた。(宇田賢吉氏撮影)



5 戦後の復興が進んだ福山駅前通り (福山市 昭和30年頃)

福山空襲で市街地がほぼ壊滅したが、戦災復興は大規模かつ断片的に進められた。駅前大通りを大規模なものとし、直交する道路も広くなった。右前方の三角屋根は現在の市役所付近である。



6 新国道2号の整備 (福山市 昭和27年)

毎日新聞社通信所(現日本生命福山ビル付近)から整備中の新国道2号を西方に望む。当時の作業は人力が主だった。道路右側の白く寄る寄る建物は税務署で、現在は東横町駐車場となっている。



7 福山城から南を望む (福山市 昭和7年頃)

手前中央の屋根は福山城の御遠殿。その左の長い建物は重層館。その下にあるのは福山駅や田中製紙会社。煙突は福島紡績。その手前は福山市役所で、右側のふたつの円筒型建物は福山市公会堂である。



1955 1966 1970 1977 1981 1983 1984 1985 1987 1988 1990 1991 1994 1995 1998 1999 2000 2001 2003 2004 2005 2006 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2015 2016 2017

History 1955年(昭和30)10月 高尾京一が、福山市若松町10-21に個人経営、タカオ体器製作所を設立。

History 1966年(昭和41)12月 有限会社タカオ体器を設立し、高尾京一が取締役社長に就任。

History 1977年(昭和52)4月 本社敷地内に大型構造物専用工場を建設。

History 1983年(昭和58)4月 造形部門プロジェクトチームのチーフアドバイザーとして杭谷一東氏を迎える。

History 1983年(昭和58)5月 業界最大規模の高温焼付塗装乾燥炉を設置。

History 1983年(昭和58)8月 大阪市に大阪営業所を開設。

History 1984年(昭和59)8月 本社隣接地に製品ストックヤードを取得、並びに本社内製造ライン再整備。

History 1984年(昭和59)9月 住宅・都市整備公団指定工場となる。

History 1981年(昭和56)4月 広島市に広島営業所を開設。

History 1985年(昭和60)9月 東京都に東京営業所を開設。

History 1987年(昭和62)5月 現社名タカオ株式会社と改称。

History 1987年(昭和62)5月 代表取締役社長に高尾悦史が就任。

History 1988年(昭和63)4月 広島県安浦町「グリーンピア安浦」に全長204mの長さのジェットローラーを設置。

History 1991年(平成3)10月 宮崎市に南九州営業所を開設。

History 1994年(平成6)5月 神辺ファクトリーを操業開始。

History 1994年(平成6)7月 福岡市に福岡営業所を開設。

History 1998年(平成10)1月 神辺ファクトリーを移転、サブファクトリーを建設、4月稼働開始。

History 1998年(平成10)10月 建設業許可。建設大臣許可の資格取得。

History 2000年(平成12)3月 札幌市に札幌営業所を開設。

History 2000年(平成12)3月 南九州営業所を鹿児島に移転。(鹿児島営業所)

History 2000年(平成12)6月 国際環境マネジメント規格 ISO 14001 認証取得。

History 2004年(平成16)8月 松山市に愛媛営業所を開設。

History 2006年(平成18)11月 「第34回溶接技術コンクール」にて団体優勝。

History 2009年(平成21)5月 新潟市に新潟営業所を開設。那覇市に沖縄営業所を開設。

History 2009年(平成21)6月 高松市に香川営業所を開設。

History 2011年(平成23)5月 東日本大震災復興支援活動(第1回振り出し市を開催)。

History 2011年(平成23)8月 東日本大震災復興支援活動(第2回振り出し市を開催)日本赤十字社を通じて被災地へ100万円を寄附。

History 2012年(平成24)7月 福島県富岡町の仮校舎で学ぶ小中学校の子ども達へ玩具を寄贈。

History 2012年(平成24)8月 アメリカ・プレイタイム社(室内遊具トップメーカー)と業務提携契約締結。日本独占販売開始。

History 2012年(平成24)10月 福島県南相馬市の高見公園へ玩具を寄贈。

History 2013年(平成25)11月 室内遊具施設「ギザギザ葉っぱ」直営店オープン。

History 2015年(平成27)10月 創業60周年を迎える。

History 2016年(平成28)6月 仙台市にて東北サービスセンターを開設。

History 2017年(平成29)3月 レゴランドJAPANへ玩具の設置。

History 2017年(平成29)9月 スケートパークメーカー American Lamp Company Incと業務提携契約を締結。

History 2015年(平成27)1月 福山本社第2工場隣接地に第5ヤードが完成。

History 2015年(平成27)1月 福山本社第2工場隣接地に第5ヤードが完成。

History 2015年(平成27)10月 創業60周年を迎える。

Product 1987年(昭和62)9月 第3回都市公園等のコンクールに於いて、赤穂海浜公園に施工部門で建設大臣賞を受賞。

Product 1987年(昭和62)10月 昭和62年度通商産業省選定グッドデザイン商品審査に於いて、スプリングプレイ「スペースシャトル」がグッドデザイン選定商品に選ばれる。

Product 1990年(平成2)5月 隣接地に建設の本社事務所及び新工場が完成。

Product 1990年(平成2)6月 製造ライン再整備により、新塗装ラインが完成。超大型焼付乾燥炉及びブースが完成。

Product 1994年(平成6)10月 第10回都市公園等のコンクールに於いて、福山市ファミリーパークが施設施工部門で建設省都市局長賞を受賞。

Product 1999年(平成11)10月 第15回都市公園等のコンクールに於いて、国営「海の中道海浜公園」施工部門で建設事務次官賞を受賞。

Product 2003年(平成15)10月 第19回都市公園等のコンクールに於いて、福岡県国営「海の中道海浜公園」施工部門でウオータージャングル冒険島が国土交通大臣賞を受賞。

Product 2003年(平成15)10月 第19回都市公園等のコンクールに於いて、福岡県国営「海の中道海浜公園」施工部門でウオータージャングル冒険島が国土交通大臣賞を受賞。

Product 2006年(平成18)11月 「第34回溶接技術コンクール」にて団体優勝。

Product 2008年(平成20)5月 東京本社、福山本社の2本社社に移行。

Product 2008年(平成20)5月 代表取締役社長、高尾悦史が代表取締役会長に就任。

Product 2008年(平成20)5月 代表取締役専務、高尾典典が代表取締役社長に就任。

History 1984年(昭和59)8月 本社隣接地に製品ストックヤードを取得、並びに本社内製造ライン再整備。

History 1984年(昭和59)9月 住宅・都市整備公団指定工場となる。

History 1987年(昭和62)5月 現社名タカオ株式会社と改称。

History 1987年(昭和62)5月 代表取締役社長に高尾悦史が就任。

History 1988年(昭和63)4月 広島県安浦町「グリーンピア安浦」に全長204mの長さのジェットローラーを設置。

History 1991年(平成3)10月 宮崎市に南九州営業所を開設。

History 1994年(平成6)5月 神辺ファクトリーを操業開始。

History 1994年(平成6)7月 福岡市に福岡営業所を開設。

History 1998年(平成10)1月 神辺ファクトリーを移転、サブファクトリーを建設、4月稼働開始。

History 1998年(平成10)10月 建設業許可。建設大臣許可の資格取得。

History 2000年(平成12)3月 札幌市に札幌営業所を開設。

History 2000年(平成12)3月 南九州営業所を鹿児島に移転。(鹿児島営業所)

History 2000年(平成12)6月 国際環境マネジメント規格 ISO 14001 認証取得。

History 2004年(平成16)8月 松山市に愛媛営業所を開設。

History 2006年(平成18)11月 「第34回溶接技術コンクール」にて団体優勝。

History 2009年(平成21)5月 新潟市に新潟営業所を開設。那覇市に沖縄営業所を開設。

History 2009年(平成21)6月 高松市に香川営業所を開設。

History 2011年(平成23)5月 東日本大震災復興支援活動(第1回振り出し市を開催)。

History 2011年(平成23)8月 東日本大震災復興支援活動(第2回振り出し市を開催)日本赤十字社を通じて被災地へ100万円を寄附。

History 2012年(平成24)7月 福島県富岡町の仮校舎で学ぶ小中学校の子ども達へ玩具を寄贈。

History 2012年(平成24)8月 アメリカ・プレイタイム社(室内遊具トップメーカー)と業務提携契約締結。日本独占販売開始。

History 2012年(平成24)10月 福島県南相馬市の高見公園へ玩具を寄贈。

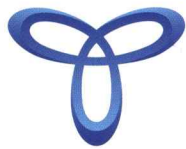
History 2013年(平成25)11月 室内遊具施設「ギザギザ葉っぱ」直営店オープン。

History 2015年(平成27)10月 創業60周年を迎える。

History 2016年(平成28)6月 仙台市にて東北サービスセンターを開設。

History 2017年(平成29)3月 レゴランドJAPANへ玩具の設置。

History 2017年(平成29)9月 スケートパークメーカー American Lamp Company Incと業務提携契約を締結。



takao.co

東京本社・福山本社・東北・横浜・関越・大阪・広島・香川・愛媛・福岡・沖縄・パリ
tokyo.fukuyama.tohoku.yokohama.kanetsu.osaka.hiroshima.kagawa.ehime.fukuoka.okinawa.paris

タカオ株式会社



<http://www.takao-world.co.jp>